

シルバー 牧之原

平成29年 8月 吉日

44号

編集・発行

公益社団法人

牧之原市シルバー人材センター

本 所 牧之原市相良 263-79

TEL : 0548-52-5080

榛原支所 牧之原市静波 172-1

TEL : 0548-23-0505

本年はシルバー人材センター設立30周年です



〈写真提供は大関進さん〉

清掃活動

牧之原市は海岸線の、約三分の一が駿河湾に面し、さがらサンビーチと静波海水浴場ともに「白砂青松はくしゃせいしょうと富士山」や伊豆の連山が見えて眺めは抜群です。

（公社）牧之原市シルバー人材センターでは毎年、海開き前の六月末日に会員による海岸清掃を実施しています。

海水浴シーズンにはご家族の皆様にも安心して楽しんでもらえます。

又海水浴場の開催中、当センターでは毎朝ゴミ回収作業や駐車場の管理、一年を通してトイレの清掃活動を行って市民からも喜ばれております。

公益社団法人牧之原市シルバー人材センター
平成29年度 定時総会



第三十七回定時総会開催
全議案は
承認されました。

六月十七日牧之原市史料館を会場に第三十七回定時総会が開催されました。当日の正会員数は五五一名の内、出席した会員数は二二三名書面表決三〇八名でした。

本杉理事長の挨拶の後、御来賓の皆様方より激励を込めた御祝辞をいただきました。永年就業会員の表彰が行われ、議事に移り、提出された議案はいずれも承認されました。

理事長あいさつ



理事長
本杉 佳弘

第三十七回定時総会にあたりご挨拶申し上げます。会員の皆様には日頃よりシルバー事業に対しましてご理解とご協力を賜りまして心よりお礼申し上げます。さて、平成二十八年度は第三次五ヶ年計画の二年目です。

会員数は五九六人で目標に対して九十四%で前年度に比べ五人とわずかですが増加しました。会員拡大には、PR活動、口こみによる勧誘等にもかかわらず、厳しい実態でした。要因はいろいろとあげられますが定年制の延長や再雇用

制度の影響を受け特に六十歳代の新会員の確保が難しい状況になっています。事業実績は、契約金額三億四千万円で前年度比五百十萬円の増額となり、目標を上回ることが出来ました。会員の皆様方のご活躍にお礼申し上げます。

今年度事業実施計画については、基本方針のもと、次の事業を着実に実施いたします。

一、会員の確保

高齢者人口の増加に伴って積極的に、理事、職員、会員で一体となって取り組み、会員の確保拡大を図る。

二、安全就業の推進

○安全・適正就業研修会の開催
○安全パトロールの実施
無事故「ゼロ」をめざし、安全就業に努めましょう。

三、設立三十周年記念事業を開催

○日時 十月二十八日(土)

開会十時三十分

○会場 マイハート「うおとも」

第一部 式典

第二部 懇親会 食事会

記念アトラクションとして大道芸、チンドン屋、県立相良高校吹奏楽部等、企画しています。ご期待下さい。詳しくは又、ご案内させていただきます。皆様のご協力ご支援で成功したく、何卒よろしく願います。皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

牧之原市議会議長あいさつ



牧之原市議会議長
良知 義廣

シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、皆様の幅広い知識や経験を活かした活動は、地域社会における重要な役割を担っており、すことを改めて深く感謝申し上げます。

超高齢化社会に対応すべく、知識、経験、能力を生かしながら社会参加していただくという思いが多くの高齢者の共感を得て、シルバー人材センターの会員数は六百人にのぼり、牧之原市にとってなくてはならない組織となっております。

第二次牧之原市総合計画の重点プロジェクトの一つである「生き活きと健康

で活躍プロジェクト」は、まさにシルバー人材センターの基本理念「自主・自立・協働・共助」に沿うものであります。

日本を含め、世界の先進国において、今後ますます少子高齢化が進むことが予想されます。そうした中で、シルバー人材センターの皆様が、地域社会における重要性はさらに高まり、さまざまな分野の多様なニーズの中で活躍されることが期待されています。

誠意やまごころ、人間性の豊かさは多くのコミュニケーションの積み重ねにより育まれるものであり、皆様が培った経験や知恵は、何物にも代えがたい財産となっております。

私も市議会といたしましても、皆様により円滑に活動できますよう引き続き支援してまいります。シルバー人材センターのさらなるご活躍とご健勝をご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

会員表彰

会員になって五年、年齢が七十歳に到達し、前年度就業日数が六十日を超えた方々です。

中西 智之 (天寄)	坂口智恵子 (大江)
今村 陽子 (波津)	植田 福次 (勝俣)
大石 泰 (静波)	石川 久子 (坂部)
八木 功 (波津)	木村佐千代 (静波)
矢部 昌邦 (大江)	松下 周光 (波津)
木林 房子 (波津)	浅井 辰一 (波津)
植田 一巳 (笠名)	松浦 弘明 (白井)
鈴木 博孝 (勝俣)	蓮池 泰代 (女神)
丹所 健一 (大江)	鈴木 勝男 (細江)
仁藤はつゑ (波津)	水越 道夫 (松本)
名波 敏弘 (福岡)	紅林 利子 (大沢)
黒田すみ子 (東蘇岡)	



ミニ展覧会

会場には会員のミニ展覧会のコーナーが設置され絵画、写真、盆栽、手芸、工作等の力作が参加者の目を楽しませてくれました。



安全標語

最優秀賞
慣れた作業に危険が潜む
周りを確認 安全第一
(松下 松雄)

優秀賞
就業前 必ず安全 ミーティング
(大石 幸雄)

優秀賞
危ないよ 基本手順 忘れずに
(西原 茂)

入選
危ないよ 昔の身軽さ 今は安全帯
(後藤 千秋)

入選
声出して 安全確認 もう一度！
(田代 春雄)

入選
気配りと 心ひとつで 事故なくす
(原崎 保江)

入選
みんなで叫ぼう 「事故ゼロ」運動
(本杉 佳弘)

入選
事故なくす 決め手はあなたの心掛け
(内藤 鈞)

入選
日常の 油断の隙に 事故潜む
(久保 直明)

出点は三十九点でした。ご協力ありがとうございました。

安全委員会だより



『安全は何よりも優先』

安全委員長 **横山 正恒**（細江）

安全委員会は会員の事故軽減を図るため、平成 29 年 6 月から、安全就業基準を改定する方向で意見をまとめ、今年 5 月 16 日の理事会に諮り満場一致で承認されました。

平成 28 年度（28 / 4 / 1 ~ 29 / 3 / 31）は就業中の事故が 13 件（草刈り作業 6 件、剪定作業 4 件、屋内作業 2 件、農作業 1 件）と多発し残念な結果となりました。（平成 27 年度は 8 件）

何故このように事故が増えたのかと安全委員会の活動を懸念する声があがっていて、何を改善すべきか検討の結果、安全就業基準を改定する事としました。

主な改定は、厳しい内容かと思われませんが少しでも事故を減少させる目的ですのでご了承下さい。改定文は、既に会員の皆様に文章でご報告のとおりです。

会員と安全委員、事務局が一緒になって種々の問題解決に取り組み、事故件数ゼロに少しでも近付くように努力いたします。

【遵守事項】

1. 各チームのリーダー又は会員で決められた事を守らない会員には就業させないよう指導して下さい。
2. 安全は、決められた事を自分自身で実行するしかありません。
3. 就業時には必ず会員全員に配布済みの安全就業ハンドブックを携帯して下さい。

就業中の事故発生状況調査（平成 28 年度）

発生日	発生時間 性別 年齢	仕事内容	事故の発生状況
11月18日	12時10分 女 年齢(76)	事務所内 清掃	就業後駐車場へ向かう途中坂道を登ったところによろけて転倒して顔をすりむいた。
H29年 2月27日	11時10分 男 年齢(76)	刈った草の 片付け	刈った草をトラックの荷台に乗って、乗せていた時、足を滑らせ転落した。転落当時は意識が朦朧としていた様子だったがしばらくしたら会話が出来るようになる。 念のために、榛原総合病院に緊急搬送される。
3月7日	15時30分 男 年齢(77)	剪定作業	剪定中枯れ枝に足を掛け落下する。

参加率向上ポイント制度

○ねらい

定時総会、地域班活動等への参加状況及び新規受注、新会員紹介等をポイントで表すことにより、会員の自主的、自発的な活動や社会参加を促すと共に、仲間づくりや健康の増進に寄与する。

下記の活動に参加するとシールでポイントを付与します。

ポイントの対象活動	主催	ポイント	シールの色
①安全標語に応募	安全委員長	10	緑色
②会報原稿に応募	編集委員長	10	緑色
③交通安全か健康教室に参加したとき	安全委員長	20	黄色
④総会のミニ展示会に出品	理事長	20	黄色
⑤通常総会に参加したとき	理事長	30	空色
⑥相良庁舎奉仕作業（相良本所） 老人福祉センター（榛原支所）	理事長	30	空色
⑦地域班活動（奉仕作業）	地域班長	30	空色
⑧地域班会合に参加した	地域班長	30	空色
⑨海水浴場清掃（開設前）	理事長	30	空色
⑩新規受注したとき	事務局長	40	赤色
⑪新会員紹介を紹介したとき	事務局長	50	ゴールド
⑫上記以外については理事長の判断により決定する。			

○対象ポイント（獲得したポイントのランクに応じて、景品を渡しております。）

ランク	獲得ポイント	賞品（市内で使える商品券）
A	300 以上	5,000 円分の商品券
B	250 ～ 290	3,000 円分の商品券
C	200 ～ 240	2,000 円分の商品券
D	150 ～ 190	1,500 円分の商品券

○他にどんな決まりがあるのか？

- 1 ポイントを集める期間は、3年間あり、貯まったポイント数により賞品と交換できます。
- 2 ポイントは、出席した会場等でお渡しします。ポイントカードに貼って、4月末日までに提出して下さい。
- 3 被表彰者には、6月の総会時に表彰し、商品をお渡しします。
- 4 自分が保有するポイントを、他の人に譲ることはできません。
- 5 ポイント及びポイントカードは、再付与、再発行はいたしません。
- 6 会員が以上の決まりに違反又は不正行為をした場合、その他理事長がポイントを取り消すことが妥当と判断した場合は、ポイントを取り消します。

クラブ紹介

ウォーキングクラブ

部長 水野 勝治（東萩間）

昨年の十月十七日にウォーキングクラブとして、初めての試みとして、バスツアーウォーキングを行いました。十四名の参加者に乗せて、事務所を出発です。その頃は曇り空でしたが、東名高速に入り、愛知県に入った頃から雨が降り始めました。目的地の茶臼山（愛知県の最高峰一四一五メートル）。山の中腹の駐車場に着きました。着いた頃には雨も止んで、いよいよ頂上目指してウォーキングです。一時間余歩いて頂上に到着しました。いつしか雲も消えうせて、頂上からの眺めは素晴らしいものでした。遠くの山々の稜線もはっきり見えました。山ウォーキングの達成感を味わいました。

ウォーキングクラブでは部員を多数募集しています。健康維持の為に、仲間との語らい、絆等を深める為にも、皆さんお誘い合わせて、是非ご入部下さい。

カラオケクラブ

部長 池ヶ谷 嘉男（坂部）

私達カラオケクラブ十八名は毎月第一月曜日、十九時三十分より吉田町住吉の「スナックつみ木」でカラオケの練習を行っております。

相良地区の清風園、相寿園、榛原地区は聖ルカホーム、老人福祉センターでカラオケ、舞踊、銭太鼓で慰問しました。

七月には吉田町シルバーのカラオケクラブの皆様方と学習ホールで歌いました。老人ホームの皆様、吉田町シルバーの皆様方の温かい拍手に元気をもらいました。

今年も各地区の老人ホームの慰問を計画しております。シルバーの会員の皆様方、カラオケをやりたい方ご参加をお願いいたします。

練習会場「スナックつみ木」の地図等は事務所にあります。

今年もカラオケクラブはガンバルゾ!!



グラウンド・ゴルフクラブ

部長 西原 茂（地頭方）

グラウンド・ゴルフはシルバー世代に最適なスポーツの一種かと思われれます。榛南地方でも各地でゲームをしている様子をよく見掛けます。さてグラウンド・ゴルフ大会は年六回、五月をはじめとし奇数月に開催され三月には吉田町シルバー人材センターとの交流大会も有ります。なお、毎回上位入賞者には、豪華な(?)賞品も有ります。上手でも下手でも運動と会話で健康で楽しく仲間づくりをしませんか。皆様のご参加をお待ちしています。

手芸クラブ

部長 戸塚 泰代（細江）

私達手芸部は十二名の部員です。皆さんぜひ楽しい手芸を始めませんか、と云うと、私はブキ用だからと云われれますが、わからない処があれば廻りの人も先生も手伝ってくれますのでブキ用な人大歓迎です。月一回集まって色々作っています。ぜひ一度のぞいて見て下さい。

会員の広場

“巡礼を経験して”

赤堀 康彦（細江）

退職して十二年目となりましたが、今までなにをして来たのか振り返ってみても何も有りませんが、しいてあげれば平成二十年から二十五年の間にツアーでの巡礼でした。日本百観音（西国三十三、坂東三十三、秩父三十四）と四国八十八ヶ所を回った事です。きっかけは地元地区（班）のお念仏で西国三十三ヶ所を唱えているうちに実際どんなお寺か興味を持ったのが始まりです。一人で参加したのですがバスに隣合わせた人が秋田（東北）の方で意気投合して結局は西国から四国まで同行となりました。秋田地方ではこのような巡礼ツアーの募集は無くインターネットで調べて参加したとの事でした。今も親しく付き合いをしております。

寺を廻った印象ですがやはり最初の西国が印象に残りますがここでは四国について述べてみます。

四国札所は、一番～二十三番が発心の

道場、二十四番～三十九番が修行の道場、四十番～六十五番が菩提の道場、六十六番～八十八番が涅槃の道場となっております。衣装は白衣で背に「南無大師遍照金剛」と書かれたのをまとい、そして手には杖を持ち「同行二人」巡礼します。本堂、大師堂と二ヶ所お参りします。山門にて合唱し、一礼します、そして手洗いで手を清め、納め札、線香、ロウソク、お賽銭を納め手を合わせお経を唱えます。初めのうちは恥ずかしさも有り浮ついた気持ちがありました。が、お参りを重ねるうちに心が落ち着いてきたことを覚えていきます。そして今でも深く残っている言葉があります。それは食事作法で唱えた言葉です。一滴の水にも、天地の恵みを感じ一粒の米にも、万人の労苦を思いありがたく頂きます。これからもこの言葉を肝に銘じ日々の生活を送りたいと思います。

感謝の気持ち

川島 準子（須々木）

長かった寒い冬が終り春の色々な花が咲き真新しいランドセルを背おった新一年生の姿を見る頃となりました。私もシルバールに入会させていただいて、この春で三年目

になりました。始めはとても不安でしたが、職場にいた仲間の人達がとても親切にしてくれました。今では休み時間には色々な話に花が咲き笑い声でいっぱいです。シルバールに入会しなければ出会わなかった大切な仲間です。仕事は大変な事もいっぱいありますが、皆んなで助け合って身体に気を付けてもう少しがんばっていきたいと思っています。出会いを作ってくださいました皆様と仲間の皆様に感謝でいっぱいです。

ボランティア雑感

堀 喜一（相良）

県立美術館でのボランティアが七年めに入った。当初、活動内容を聞くと来館者の案内とのこと。「男は黙って〇〇ビール」の昭和の人間としては既にこの時点でUターン、帰宅の心境。詳しくは聞けばこれがまあ難しい。作品の解説なしでその感想などを対話してほしいとのこと：無理！

しかし、やってみると面白い。お客様が興味ありと選んだのがパリのセーヌ川付近の風景画。延々とパリ旅行の想い出を聞くこととなる。出番なし。別の女性一枚の抽象画を観るためにはるる九州から。この緊張感が心地良いと絵に見入

る女性。またまた当方沈黙。何もやってないではないかと自問。しかしまさに人さまさま。一期一会。「ロダン館」という広大なスペースがあり、考える人々が待っている。お客様には必ずそのポーズをとってもらうことにしている。なんとというボランティアであることか。

別れ際に「楽しかった。」の一言を頂くのが至福の時。どうやらまだやめられそうもない。

現在、十一名のボランティアが交替で活動している。私以外は真面目な方ばかり。その十名に会いに県立美術館にいらっしやいませんか。

シルバー人材センター「泊旅行」 大塚 穂津美（中）

毎年心待ちにしている一泊親睦旅行の時期が来ました。十五日の朝は少し寒かったのですが相良庁舎と榛原老人福祉センターから三十六名が乗車しました。東名に入り副会長の後藤千秋さんの挨拶が終わり飲み物やつまみが配られると車内は一気に賑わってきました。横浜町田インターを降り川崎大師に参拝しましたが、この川崎大師では毎日厄除・建物・家内安全・商売繁昌・健

康などの祈願を行っています。

昼食をすませて「東京湾アクアライン海ほたる」へ行きましたが風が強く曇っていても寒かった（晴れていればとても眺めのいい所だったろうに）そして今話題の濃溝の滝へ、この濃溝の滝は清水溪流広場内に架かる滝で大きく迂回していた川を洞窟の中を通す事により短くしたようです。光の差し方で水面に光が屈折しハート型に見えたり洞窟の中と外との明暗の差が美しく春は桜、初夏は蛍、秋は紅葉など季節を通して楽しむ事が出来るようです。勝浦温泉では幹事の水野勝治さんの乾杯の音頭で宴会が始まり飲んだり御馳走を食べたりカラオケが始まったり談笑したりして大変賑やかでした。十六日は、お天気も良く朝市へ出かけ外気の冷たさも気持ちよく感じました。「太海フラワーセンター」の見学をすませて日本寺へ、この日本一の大仏様は三十一、〇五メートルあるそうです。病苦を救う仏様で左手に薬壺を持っています。千五百羅漢と甚五郎のお墓まで登ろうと思いましたが、とにかく山が高く石段が多い、「アーえらい、汗が出るねえ、まだかねえ。」疲れてくると文句も出て来る。帰りの時間も気になり途中であきらめ下山してしまいました。富津で昼食をとり浜金谷港から久

里浜港へ そのフェリーのデッキでユリカモメが独特な鳴き声で何十羽も飛んで来て指先のえびせんをついばむ姿を初めて見た経験だったので私は感動しました。帰りのバスの中では、ビンゴゲームで賑わいました「まだあかないなあ、もうあいてるじゃん。」景品は早くあいても遅くても同じ事だから長く楽しめる方がいいじゃん。早くあくと楽しみがなくなっちゃうよ。

後藤さんを始め企画して下さった役員の皆様楽しい思い出の残る旅をありがとうございました。一年に一度の一泊親睦旅行へぜひ参加してみませんか。



新会員の紹介

どうぞよろしく

赤堀 康彦(細江)	芥川 初雄(静波)
池谷 千利(波津)	諫山 和枝(細江)
大石 京子(静波)	大石 宰子(福岡)
大石 晃子(細江)	大原 貫治(静波)
尾崎賀一郎(静波)	加藤 浜子(地頭方)
河村 鈴代(須々木)	久保 秀夫(福岡)
坂下 芳子(静谷)	庄司 昭(細江)
直里 良男(須々木)	鈴掛 達也(男神)
知久 正義(細江)	寺尾あさ子(細江)
中西 廣治(布引原)	西村 昭(大沢)
畑 文夫(片浜)	畑 みちよ(片浜)
平林 士郎(大沢)	細田 高正(波津)
益富 数義(静波)	松下 公子(道場)
村松 寿嘉(切山)	本杉 修子(波津)

新会員募集中

シルバー人材センターで働いてみませんか？

長年培った知識・経験・技能等を活かしつつ、自らの生き甲斐と健康維持管理&仲間とのふれあいを通じ、地域社会に貢献しています。

互助会だより

★日帰り旅行

平成二十九年九月二十九日(金)
御殿場、箱根方面

★一泊旅行

平成三十年三月十五日(木)・十六日(金)
関西方面

★新年会

平成三十年一月二十一日(日)
うおとも

慶弔等規定について

死亡弔慰

ア. 本センター役員及び会員の者	10,000円
同上配偶者	5,000円
イ. その他会長が特に必要と認めた者	5,000円

ただし、会員にあっては登録承認の日から1年以上経過し、且つ、相当の業務に服した者とする。

疾病見舞(傷病又は疾病にかかったとき)

ア. 本センター役員及び会員の者	
入院10日以上	5,000円
イ. その他会長が特に必要と認めた者	
入院10以上	5,000円

ただし、会員にあっては登録承認の日から1年以上経過し、且つ、相当の業務に服した者とする。

該当の方は事務局へ申請して下さい。

新しい職員の紹介



大 関 進

4月より榛原支所に勤務している大関進です。地域に根ざした身近なシルバー人材センターの一員として、また、発注者と会員の皆さんのつなぎ役として職務に当たりたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

前任の益富数義さんは、今年3月で退職しました。

編集後記

暑い日が続いています。熱中症にかからない様にくれぐれも注意して健康でお過ごし下さい。
原稿をお願いした会員の皆様には忌憚の無い原稿が寄せられ嬉しい悲鳴をあげました。原稿の意を曲げないで、文を短くしたり、少々長くしたりしたことをお許し下さい。
事故のないよう気を付けて就業をお願いします。

編集委員

委員長 鈴木干城(大寄)・横山真一(細江)
太田勝夫(細江)・中西雷太郎(静波)
今村とし子(大江)・絹村まり子(事務局)